

科目名	科学技術文章		英文表記	Science and Technology Expression		23年3月15日			
科目コード	4002								
教員名：網谷 厚子						作成			
対象学科／専攻コース			学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間	
全学科			4年	必	履修	1単位	講義	後期	
目標及び評価方法	目標項目				評価方法及びその割合				
	1 論理的思考力を身につける。				1、論理的思考力に関する小テスト・レポートによる評価(20%)				
	2 論証することについて熟達する。				2 プレゼンテーション・小論文による評価(30%)				
	3 科学技術文章のスタイルについての基礎的技術を習得する。				3 科学技術文章についての中間考査による評価(50%)				
高専目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称	機械システム工学	情報通信システム工学	メディア情報工学	生物資源工学
	○	◎		○	JABEEプログラム教育目標	A-1,c-1	A-1,C-1	A-1,C-4	B-1,C-2
授業概要、方針、履修上の注意	<p>1 批評・批判・論証についての考え方を、実例・パターンに基づいて学ばせ、小論文・レポートを数回書かせることにより、自ら運用できる力を身につかせる。</p> <p>2 科学技術文章の特色について理解させ、正しく的確に表現できる能力を、小テストで確認しながら形成的に評価し、確実に習得させる。</p> <p>3 書くこと(論証すること)・話すこと(発表すること)・聴くこと(批評的に)をバランス良く配置し、主体的な学習となるようにする。</p>								
教科書・教材	『知的な科学・技術文章の書き方』(中島利勝・塚本真也著、コロナ社)・『知的な科学・技術文章の徹底演習』(塚本真也著、コロナ社)								
<b>授 業 計 画</b>									
回数	授 業 項 目	時間	授 業 内 容				予 習 項 目		
1	論理的思考の方法	2	「論理的」となるための必要な要素について学ばせ						
2	論理の進め方	2	実例を理解し、説得力の根拠を理解させる。						
3	批評・批判・論証の実例	2	同調・反対等の説得力ある表現の特徴に気づかせ						
4	論拠・データの集め方	2	論拠・データの収集の仕方・表現について習熟さ						
5	説得力ある論理的文章とは	2	「論理的」となるための必要な要素について学ばせ						
6	科学技術文章の特徴	2	科学技術文章とは何か、基礎的知識を身につかせ						
7	文章のルール・スタイル	2	横書きスタイルに関するルールについて学ばせる。						
8	中間考査	1	上記の学習の習熟度を評価する。						
9	形式名詞・補助動詞の表記・禁則処理	2	形式名詞・補助動詞等の表現に習熟させる。						
10	副詞・各種記号・表記のルール、プレゼンテーション	2	表記の様々なルール、プレゼンテーションの工夫について学ばせる。						
11	プレゼンテーションの実際	2	実際にプレゼンテーションをさせ、相互評価させ						
12	接続詞・接文語句のルール、文末表現の工夫	2	効果的、明解な文章、力強い魅力的文章を書く方法について学ばせる。						
13	短文・長文の活用法	2	長短の文章の特徴を最大限に生かす方法を学ば						
14	図番・図表の活用法	2	効果的な活用について基礎的知識を身につかせ						
15	明解な文章表現法	2	明解な文章へと推敲できる能力を鍛える。						
16	科学・技術者の守るべき	1	科学・技術者が守るべき基本的なルールを学ばせる。						
学習時間合計			30	実時間			25		
学修単位における自学自習時間の保証(レポート頻度など)									

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(50分=1、100分=2)